

# 議 事 録

会議の名称	平成 30 年度 第 2 回 愛 荘 町 総 合 教 育 会 議
開催日時	平成 30 年 11 月 20 日 (火) 午後 3 時 00 分
開催場所	秦 荘 庁 舎 2 階 大 会 議 室
出席者	<p>【構 成 員】 6 名</p> <p>町長 有村 国知、副町長 石田 政則、教育長職務代理者 植田 建次          教育委員 松浦 延代、教育委員 中村 由香里          教育委員 八島 琢磨</p> <p>【事 務 局】 7 名</p> <p>総務部長 川村節子、住民福祉部長 岡部得晴、教育管理部長 中村治史、          教育委員会事務局 生涯学習課長 藤居祐司          図書館 館長 茶谷えりか          教育委員会事務局 教育振興課長 北川 寛          教育委員会事務局 教育振興課係長 増居志穂</p>
議事日程	<p>協議・報告事項</p> <p>・「愛 荘 町 教 育 大 綱 お よ び 平 成 30 年 度 教 育 行 政 重 点 施 策 に つ い て</p>
議事録作成者	教育振興課 増居 志穂
審議内容	<p>午後 3 時 00 分開会</p> <p>司会 (中村部長) 本日は早朝から愛知川地域の学校訪問、大変お疲れ様でした。これから第 2 回目の総合教育会議を開催するわけですが、その議論に大変参考になる学校訪問であったかと思えます。それでは平成 30 年度第 2 回の愛 荘 町 総合教育会議を開催いたします。はじめに、有村町長からご挨拶をお願いいたします。</p> <p>有村町長 先ほどもありましたが、朝から長時間にわたり、学校訪問にご参加、ご意見をいただきまして本当にありがとうございます。日頃から植田職務代理者をはじめ、教育委員の皆さんにはいろいろなところで町の教育にお力を賜っていますことをこの場をお借りしまして本当に心から感謝を申し上げます。</p> <p>今日は、幼稚園・小学校・中学校と順に訪問していく中で、本当に大事な宝である次代を担う子どもたちが、1 日で大きくなっていくのを見るような、そんな感覚を持つ大変ありがたい時間でもありました。それが故に子どもたちが将来社会に貢献のできる、自らの選び取った道を切り拓いていけるたくましい力を彼らに身につけてもらうためにも、私たちが果たさなければならない責任は大変大きなものがあると感じたところです。</p>

	<p>今日は本年度第2回目の総合教育会議ということで、どうぞよろしくお願いをいたします。</p>
<p>司会（中村部長）</p>	<p>ありがとうございます。それではさっそくですが、会議に移りたいと思います。会議の運営につきましては愛荘町総合教育会議設置要綱に基づき進めさせていただきます。</p>
	<p>早速ではございますが、設置要綱第4条規定により町長が議長になることから、会議の進行を有村町長にお願いいたします。よろしく申し上げます。</p>
<p>議長（有村町長）</p>	<p>それでは設置要綱に基づきまして、議長を務めさせていただきたいと思っておりますのでご協力のほどよろしくお願い申し上げます。</p>
	<p>次第の2 協議事項、「愛荘町教育大綱および平成30年度教育行政重点施策」にかかる意見交換です。平成30年度教育行政重点施策の中から4つの施策についてわたくしと教育委員のみなさんと意見交換したいと思っております。</p>
<p>構成員（八島委員）</p>	<p>すみません、1点よろしいですか。1回目の総合教育会議の時に教育長の選任について、私の方からご質問したと思います。その際は「今探しています。」という返答だったと思うのですが、あれから5ヶ月、どういう状況になっているのでしょうか。</p>
<p>議長（有村町長）</p>	<p>ご質問ありがとうございます。教育長の存在というのは大事な部分でもございますので、私も早く教育長をなんとか選任したいと思っております。現状にあたりましてはいろいろな方にもお会いしていますが、ご家庭やご自身の都合によりその任務を受けるとするのは難しいということでご辞退をいただくというケースもございます。一日も早く教育の現場におられる先生方にもご安心いただきたいという思いもあるというのはもちろんのことですが、とはいえ私がなかなかいい方にめぐりあえないということで手近におられる方々に「なんとなんてなってください」と言えるような立場でないのも事実です。その点では議会でも申し上げているとおり、企業でいうと副社長や専務という職を「ちょっとやってくれる？」と軽々しく言えるようなポジションではないと強く思っておりますので、現時点では引き受けていただける方を報告できる状況ではないというところですが、教育長の選任に向けて努力しているところでもありますのでご報告申し上げます。</p>
<p>構成員（八島委員）</p>	<p>私の個人的意見としてお聞きいただいたらいいと思いますが、お話を聞</p>

員)	<p>いている限り、そういう状況であれば、来年3月に向けても難しいと聞こえるのですが、それであれば町長・副町長が教育長代理をするとか、そういうことは不可能なのですか。それが一点です。議題の方で資料を頂戴してみていろいろ話をしないといけないなと思っているのですが、先ほど愛知中学校で町長からお話があった内容、あれを今日の議題にするというのはどうでしょうか。正直言うと校長も困られていると、校長自ら、町長のお話でいけば来なくていいですよというようには校長としてはできない、ではそれを町としてどうするかを決めてあげるのが、当然町長・副町長になると思うのですが、こういう総合教育会議でそういう生徒がいた場合はどう対応すべきか、通達を出してあげるしかないのではないかと、今日おっしゃられたようにしようと思うとその方法しかないかと思うのですが、それについて検討できる場というのがこの総合教育会議くらいかなと思うのですがいかがでしょうか。</p>
構成員（石田副町長）	<p>総合教育会議というのはあくまでも首長部局と教育委員会はそれぞれ独立した団体で、教育というのは政治的中立という流れの中で、独立した判断のもとやっただけでいる。ただ昨今の状況で、ある程度町の方向性と合致した中で政策転換していかないといけないという中で、この総合教育会議は意見交換の場ということで首長のもと会議をやる。ただあくまでも意見交換の場、首長がどういう方向性で考えているかという部分についてそれぞれ意見交換をいただいて、最終的には、町の教育としての方向性をどうしていくかを教育委員会として議論の上、決定いただくというのがすみわけといたしますか、この場で決定というわけではございません。</p>
構成員（八島委員）	<p>決定はいいません。正直、今日初めて町長・副町長のお考えを愛知中の問題についてお聞きしたので、それをもっと町長が「わたしはこう思っている、こうすればいい」というのを言っただけであれば、教育委員含めて教育委員会で、ではこの方向で行きましょうというのを作って、最終町長にも了解をもらうのでしょうか、その流れでいけると思うのです。正直我々もあまり町長とお話をさせて頂く機会がないので、それぞれ意見を出す機会ということでちょうどいいと思います。熱いうちに鉄を打ったほうがいいのではないかとと思うのですがいかがでしょう。</p>
議長（有村町長）	<p>ありがとうございます。おっしゃっていただいているところもたいへん大事な要素でございますから、さまざまなご意見を交換のなかでしていくというのがいちばんふさわしいかと思っております。そのなかでさきほどの愛知中の状況とか、「わかる授業と考える授業の展開」ということ自体は各学校現場の先生方が本当にご協力いただいている部分でございます</p>

	<p>のでそれに関してひとつひとつ受け止めていくことができればと思っております。また、教育長の代理に町長・副町長は一時的には無理でございますから植田先生にはいつも大変申し訳ないと思いながら職務代理をお願いしている状況です。やはり早い段階で選任をしていきたいという思いは変わってはいません。</p>
	<p style="text-align: center;">— 施策 15 「わかる授業、考える授業の展開」について —</p>
<p>構成員（八島委員）</p>	<p>「わかる授業、考える授業の展開」というのはお手元に資料はございますか。</p>
<p>議長（有村町長）</p>	<p>すみません。私の意見は無視ですか。先ほどここで検討しませんかと言っているの、例えば教育委員会事務局の中村部長に任せるといならそれでもいいのですけど、意見交換をしませんかと言っているの返事がいただきたい。</p>
<p>構成員（八島委員）</p>	<p>この策をそれぞれ拝見していく中での意見交換という形がよろしいと思います。</p>
<p>構成員（八島委員）</p>	<p>校長先生のお話を聞くと、校長としてはできる限りのことをやっているけど、それは校長の意にそぐわないというような内容だったので、それなら町として義務教育であろうと、町として出席停止の措置をする、植田職務代理もなかなか難しいとおっしゃっていましたから、もうトップが言うしかないのですよね。その規律を作り、そういう方法で本当にいくのであればそれは早く通達を出してあげた方がいいと思うのです。先生たちも今、現場で一生懸命頑張ってくれていると僕らは思っているけれども、見方が違うので、そういうルールをしっかりと作ってあげた方がいいのではないかなと思うのですが。</p>
<p>構成員（石田副町長）</p>	<p>例えば出席停止という手段も選択しとしてはあるとしても、これまでの生徒指導に取り組んでこられているので、その中でやはりどういう方策をとっていくべきなのか、もう一度きちんと議論してより効果的な取組をお願いしたいと。必ずいきなり出席停止ですと、○か×かということではなくて、これまでの取組を踏まえて場合によっては毅然として取り組むべきところで、人間ですので気持ちに沿った形での対応と、他の学校でも同じようなことがあると思うので、その辺も踏まえながらもう一度きちんと対応してほしいということで、この時点で通知を出すかどうかを決めるということではなくて、最終的な現場が一番大切なので。</p>

<p>構成員（八島委員）</p>	<p>そういうのが必要ではないかというふうにおっしゃるから、そういうのを考えないといけない、検討してくれと、必要であれば、そこまでしようとは誰も思っていないわけですよ。今の中でなんとかしようと頑張っていることに対してああいう発言の仕方をされると校長としても困るのです。そうであればきちんと作ってあげればいいのではないですか。あるところまでいったら出席停止を通達しなさいとかそういう話です。</p>
<p>構成員（植田教育長職務代理者）</p>	<p>八島さんの言いたいことはよく分かるのですが、論法的に、順序的にというか、最終的に私が職務代理をさせてもらっていますけど、よしんば通達が出てそれを受け入れるという部分には、私は教育委員としてはないだろうと。だいたい筋が違っているのではないかというふうになるので、この部分では通達やその辺の部分は町長に出す義務と権利があるのかというと、私は若干ニュアンスが違うなあと思っていますので、出てきてもそのことについては私ならば拒否するから、その通達という話については八島さんの言っているご意見についてはちょっと話が違うかなと思います。校長先生も非常に努力されているけど成果がなかなか得られないと言っておられるけども、成果はあがるはずだという話も出てきましたので、でも私は教育をやってきた立場としてなかなか成果はあがらないので、もう少し長い目で見ていかないといけないという思いはあるのですが、いやそれでは生ぬるい、社会のルールを教えるにはダメじゃないかということになればどうするのか。副町長がおっしゃったように、最終的に決めるのは通達が出ようと出まいと、教育委員会のエリアの仕事だろうなと思っていますので、八島さんのおっしゃる通達の部分についてはちょっとおいて議論をする方が・・・。</p>
<p>構成員（八島委員） 構成員（植田教育長職務代理者）</p>	<p>通達は結果なので議論をする機会是他にないので思っただけです。</p> <p>だからいま町長がおっしゃるようにわかる授業、考える授業ということからも接点を作っていけるのではないか。今日、町長が、なぜ学校改築が愛知中だけこんなに遅れて、今まで議題にあがってこなかったのはおかしいじゃないかというご意見をおっしゃってくれていたもので、そういう意見を持ってきていたのかということで、子どもたちに私たちの立場を教育委員会ならびに町行政そして親、大人という立場から、なぜ愛知中がいまごろになって改築の話をしているのかとおっしゃるといふのだと、その時点から私たちは何も示せていないのではないかと、そんなことをして子どもたちにどうこうしなさいとは言えないのではないかと伺いました。今日見させてもらって、今の愛知中の問題を、町長と副町長は非常に危機</p>

<p>議長（有村町長）</p>	<p>感を覚えられたのですが、私たちはよくなったなあと、そういう認識の違いが出てきた時点でその違いをもう少し掘り下げていくといいのかなと思っています。</p> <p>ありがとうございます。本当におっしゃっておられるとおり冒頭のご挨拶でも申し上げましたが、私たちが果たさなければならない責任は本当に大きいと思うのです。長い人生のなかでしっかり義務教育の中で勉強できるのは十何年間しかない。その可能性を伸ばすときに私たちができる限りのことをやってあげないと無責任であると思っています。目指すところは変わらないと思いますので、成果や結果を出していくということは町行政に求められている。特に私は選挙を経て、この場に上がらせていただいておりますので、町民の期待に応えていきたいというところがあります。また教育・学力の向上が大事だということを選挙戦でも訴えております。この「わかる授業、考える授業の展開」の中で、先生方も学校現場におきまして様々な研修を重ねてくださっています。また少人数学級体制や支援員等もいてくれます。町もその現状はしっかり維持することが大事だと思っています。また学校 ICT 授業の活用ということで導入検討ということになっておりますが、私も ICT 等々は必要なりテラシーはつけてあげたいと思いつつも、それをしっかり担える先生方がいてくださることが大事です。タブレットを配布してそれで終わりということではない、また、タブレットを配布したことによってみんなの注意が散漫になるという本末転倒になることを避けたいとも思っておりますが、そればかりではないというような思いを持っております。先生方がお忙しい時間の中で、いろんな負担が出ないように、より生産的な授業を展開できる時間をしっかり持っていただく、その分研鑽を重ねていただくということを町行政としても期待申し上げますし、サポートが必要であれば保護者にも私からどんどん発信していけたらと思っております。ご意見いただければありがたいです。</p>
<p>構成員（八島委員）</p>	<p>ICT の件で、積極的に 4 つの小学校と 2 つの中学校に最新の ICT やいろんなパソコンを使った授業をさせるというのを、例えば教育委員会に ICT 導入を推進する課を作って主体になって導入していかないと、タブレットだけ導入したからそれでやりなさいといっても難しいのかなと思います。すぐには無理かもわからないけど、ICT を活用した授業をどうしたらいいかというのを教育委員会の中で進める人を作るということを考えていいのではないかと思います。パソコンとかスマホの触れ方についての教育も含めれば、ゲームを 1 日数時間するのが減って、逆にタブレットやパソコンを使って勉強するとか本を読むとかいうことが増えていくことになる</p>

<p>構成員（松浦委員）</p>	<p>のかなという気もするので、学校 ICT 活用授業というのをもっと広げて考えたらいいのではないかと考えています。</p> <p>先日も愛犬地区の教育委員研修があり、先進地視察ということで文科省から指定されている草津市の玉川小学校というところへ行ったのですが、草津市は人口が多いというので母体が大きいことありますが、草津市の予算で2億円というとてもない桁の予算がついている。多賀町の教育長もおっしゃっていたのですが、草津市から異動で多賀町に来られた先生がギャップを感じられていた。予算の問題もあるけど、やはりそういうテクニックを持った人とか教員の指導をする課を作ったりして、そういうことができればいいなおっしゃっていたので、愛荘町も教育長や町長、副町長もそういうところで一緒に視察研修をして、いいところを持ち帰りたい、そういう機会があればいいなと思って帰ってきました。</p>
<p>構成員（八島委員）</p>	<p>玉川小の場合、教育委員会の中にそういう組織があるのですか。</p>
<p>構成員（松浦委員）</p>	<p>草津市教育委員会の行政組織の中に、学校 ICT 推進課がありました。</p>
<p>構成員（中村委員）</p>	<p>これからの時代には必要なことなので、早いうちからの ICT は必要なのかなと思いますけど、この間研修で見に行ったとき、プログラミングの授業というのでもすごく時間をかけておられて、子どもたちは熱中してやっているのですが、その取られた時間分の勉強が単純に減るとしてしまいました。すごく格差があると思うのです。できる子とできない子の差がものすごくあって、4年生とか5年生になっても筆算ができない子が結構います。そういう子に分数とか教えても絶対分からなくて、中学校へ行ったときにまったく分からない、そうなると思うし、そういう子どもたちがどんどん置いてきぼりにされるのではないかと心配があって、相乗効果であっちも頑張るとこっちも頑張ろうとなればいいのですが、そういう勉強の基本的なことがどんどん置いてきぼりになるのではないかと心配があるので、進める分、そういうのも大事に考えてもらいたいと思います。</p>
<p>構成員（石田副町長）</p>	<p>プログラミング教育や特殊な授業よりもタブレットを教科書やノートのように使うことによって、きちんと生徒自体の学習の習熟度を共有することも将来的には可能になるのかと思われます。現在の ICT 教育の場合、本当にそういった形で使われているのか、すぐ導入というわけではなくて、今の教育の現状にあった形でうまく使っていけるのか見極めて、いい形で導入をするべきかと思っています。一度導入するとかなり高価なものです</p>

<p>構成員（植田教育長職務代理者）</p>	<p>し、生徒の数も必要ですし、それを生かせるようなかたちで、ただ研究だけはすでに項目にあがっていますのでやっていただかないといけないとは考えています。</p> <p>今日「わかる授業、考える授業」ということの関係の中で副町長とお話しして、小学校も少人数編成での授業というのをやっておるのですが、今日見た4つの授業の中で、プレテストをして、習熟度別のクラス編成がされていました。板書を見てもやっている中身はほとんど一緒で、そんなに違いがなくて、板書も上手に書いてあるか下手に書いてあるかの違いだけかと思ったのですが、あれでどの子がどこまでどう伸びたかということはちゃんとその学校で教育されているのですかと質問だったので、私がやってきたのは少人数のそういう実態から見ていると、そこまでの時間はとても教員にはありません。少人数授業はやっていきますけど、今回の授業がこの子たちにとって、どこまで学年の中でできているのか、きちんと評価をされていますかと言われたのですが、そこはやってこなかったなと思いました。そうすると「やっていきます」ということになってしまったら「わかる授業、考える授業」というのがお題目としてなっていて、「少人数でやればなんとなく成果が出ています」みたいになるというのを副町長が言われたのではないかと思うのですが、私の経験上、この1時間のこの單元の中で、この子たちにとってどうだったか、どこが違って授業が形成されているのかというところまでの少人数授業というのはなかなかやって来られなかったと思うので、そのへんの細かなことに ICT が関係して機能するなら ICT も評価するのですが、中村委員さんがおっしゃっていたように ICT にすぐ飛びついたら効果が出るというような、とられる時間などを考えたらなかなか難しいとは思いますが、ICT はこれからの大きな課題なのですが、なにも議論をしなければ進みませんので、議論していつに使えるのか考えていかないといけないと思っています。</p>
<p>議長（有村町長）</p>	<p>習熟度別のクラス分け等、職務代理者がおっしゃっていただいている部分はとても大事だと、また ICT のことで中村委員さんが危惧される部分もたいへん大事、また松浦委員さんがおっしゃっているように、先進地の事例、成功ケースを見ていくことによって、それが指標になってきますので、私たちも実体験として共有できるように視察にも行ってみたいと思っています。</p> <p style="text-align: center;">— 施策 16 教職員としての資質と指導力の向上について —</p> <p>構成員（八島委</p>
<p>員）</p>	<p>教職員の資質や指導力は一定であれば、児童生徒が変わろうと教育レベ</p>

員)	<p>ルは変わらないので教員の資質が一定になることが必要ではないかと思 います。そのために、例えば教育委員会にそういうセクションを作ればど うかというのはその都度提案しているのですが、それが無理にしても、教 職員の評価、個人評価、例えばレーダーチャートがあって先生のいろい ろな資質としての必要な項目があって、それぞれ何点取っているか、その先 生の凹んでいる部分をいかにして上げていくのか、これから先の GDP をど ういうふうに組み立てていったらいいのかというのを教育委員会でつか んで、低いところをいかに上げていくか、そういう管理をするのが教育委 員会ではないかと思うのです。それで先生のレベルを平均点が3とすれば それ以上に上げていくということを考えるのに、私はもう少し人もお金も 使っていいのかなと思います。私は企業出身で、企業ではそのように個人 一人ひとりを ABC で評価するわけです。それは周りの人が評価したり上司 が評価したりしますけど、それを人事として持っていて、部署ごとに大体 平均的なピラミッドができるように持っていく。平均的に少しでもいいよ うな構成にしようとするので、そういうことを教員に対してもしていいの ではないかと思います。</p>
事務局（中村部 長）	<p>教職員の人事評価は行なっております。学校長が教員・一般職員を評価 し、校長の評価は教育長がします。今回は教育長がおりませんので人事評 価は職務代理者をお願いしました。おっしゃるように先生方もいろんな方 がいらっしゃるって、優れた先生方も、もうちょっと頑張ってもらいたい 先生も両方いらっしゃいます。それは八島委員がおっしゃるように動いて おります。それをもって学校現場でしっかりと取り組みもいただいている ところですが、現実になかなか難しい方もおられるのは事実です。ただそ の取り組みは継続してやっております。</p>
構成員（石田副 町長）	<p>八島委員の意見に近いかもしれませんが、学校の中で指導力の向上とい うことになると、朝から夕方まで授業をして、どこが不足しているかを客 観的に見るのは難しいかと思われま。ただ、町教育委員会にも指導的な 役割で一人以上配置という位置づけになっています。市は総合教育センタ ー的な機能があってそういった部分をフォローしていますが、そういう点 では町の体制は弱いという部分があるので、学校は、組織全体でレベルア ップするような形で取り組んでおられると、またプラスアルファで第三者 的な教育委員会事務局含めて指導力について客観的にアドバイスをする ような形を作ってもいいかと思います。ただそれも費用がかかりますが、 どういう形でできるのかというのがありますし、もうひとつは充て指導主 事のもと、何らかの形でそういったことを考えていくべきかと思います。</p>

<p>構成員（八島委員）</p>	<p>教師は自分のことについて年に 1 回くらい評価するのですか。自己勸奨、例えば私はこういう能力があるとか、これについてはここまでいけているとか、そういうのはされているのですか。</p>
<p>構成員（植田教育長職務代理者）</p>	<p>「自分は今年こういう目標を持ってやります」と校長と面談をしています。それをもって校長はその先生を評価する形になっているので、自分がいくつかのジャンルの中で、こういうふうなことを今年の取り組みとしてやるという目標設定のようなことはやっています。数値目標について今もしているのかはよく分かりませんが、校長と各教員とはきちんと面談しながら学期ごとに評価はしています。ただ、「あなたはこれだけしかできていません」という評価は言いません。</p>
<p>議長（有村町長）</p>	<p>「教職員の資質の向上」に関して、私がすごく感じているのは愛荘町の学校現場、特に愛知中学校で授業中私語が多くて、真面目に授業を受けた子供たちまでもが邪魔されてしまう、授業の姿勢がそがれてしまうところがあります。それに対して先生方も強くおっしゃらないというのがあります。その点では私たちの時代において先生は、「おっかない存在」、「敬意をもって接するもの」というような共通理解が今の親子関係から延長線上に学校にフラットな関係性を持ち込まれているような気がします。やはりそこは毅然とした態度で授業にも生徒たちにも臨んでいただく姿勢を愛荘町の教育委員会として盛り上げていけないかとすごく感じております。それとともに、東京のある中学校の校長先生の講演でもありましたが、「みんな静かに授業を聞け」と言う先生は一流とは言えない、「みなさん静かにして聞きなさい」と言うのではなくて、自分がそれだけ魅力のある授業をやっていたら子どもたちは素直に聞いてくれる、もっと知りたがってくる、そういうところを目指して教員はやっていかななくてはいけないとおっしゃっていたのも一つの真理かと思いました。生徒と先生の言葉使いや接し方で、距離が近いというのはいいのですが、友達ではないのですから、線は引いて、何とか先生方のポジションというのを子どもたちに理解させるというところを愛荘町としてできるかというのも課題かと思います。</p>
<p>議長（有村町長）</p>	<p style="text-align: center;">— 施策 19 児童生徒理解に基づく生徒指導の充実について —</p> <p>いじめや不登校の対応ということで、青少年育成に関して町民会議をはじめ様々な外部団体の方にもお取り組みいただいていることに触れますと、大人たちはすごく思いを持っている、子供たち同士の悩みも深いものがあって大人からはなかなか認識できない部分もあると思いますが、もしご意見あればよろしく願います。</p>

<p>構成員（中村委員）</p>	<p>いじめの概念が昔と今とでは違うと思います。私たちが感じるいじめというのは、例えば阻害されるとか無視されるとか明らかにその人をいらないものとして扱うのがいじめという認識があるのですが、子どもたちはそういうのではなくてからかいたい、この子はいじるとおもしろいみたいなのが始まりで、いじているつもりはなくておもしろい、楽しいが始まりで、やられている子もその雰囲気を楽しんでいるから甘んじてその関係を受け入れるのが始まりな感じで、そのままうまくいく場合もあるのですが、中にはそれがエスカレートして嫌だけど抜け出せないというのが今のいじめだと思うのです。それを先生が見抜く力があるのかというのではないと思うのです。私も過去に、「それはいじめじゃないですか」と言ったことがありますが、先生は「楽しく遊んでいます。」とおっしゃるのです。傍目から見たらきっとそうで、やっている子たちも笑っていたと言うのですが、本人は嫌だったということの積み重ねで、最終的に何十人対一人とかになってくると、先生もおかしいと気づいてくれるのですが、ターゲットが変わってしまっていたり、ぱっと見た感じが良い集団に見えてしまうので大人がそこにどう入っていくか、すごくデリケートで、下手に入ると特別扱いになってしまうこともあり、簡単に線が引けないと思います。不登校で教室に入れず、別室に来ている子と聞くとすごくおとなしい子かと思うのですが、外で会うと元気な子だったりするのです。この子が教室に入れないの？と不思議に思うけど、私たちが分からない子どもの複雑な世界があるのだらうと思います。</p>
<p>議長（有村町長）</p>	<p>ご意見ありがとうございます。嫌だけど抜け出せないという状況は恐ろしいなと拝聴させていただきました。子どもと先生方は世代的ギャップが20年から30年くらいあるという状況ですから、感性の違い、世代間の違いがあると思いますが、私が思うところとして、いざというときに先生や周りの大人は子ども達の味方や頼れる存在であるという最後の砦として、常に先生方にはメッセージを発信していただきたいと思っています。全部拾えるかというそれはハードルが高いと思いますので、先生方には寄り添うという姿勢、サインをキャッチできたら、可能な限りその可能性は高めておいていただきたいと思うし、また何かそういう兆候があったなら、保健室もその兆候のひとつになるかもしれないと今日思ったのですが、先生方には機敏に対応して子どもたちの信頼を絶対に損ねることがないという存在に自らを磨いていただきたいと思っています。</p>
<p>構成員（八島委員）</p>	<p>学校と教育委員会の連携、これがすばやくできるように最近はないことがあります。学校で止めようとしている。それをまずは教育委員</p>

	<p>会に連絡・相談してもらう、そうしないとそこから先の対応に時間がかかる。</p>
事務局（中村部長）	<p>この間、町長のところに連絡が入って私のところに入ってなかったケースがありました。</p>
議長（有村町長）	<p>あれはよくないですね。</p>
事務局（中村部長）	<p>結局学校が蓋をしているというふうにはしか見えない。余計に問題が多くなります。</p>
構成員（八島委員）	<p>それは先ほど町長がおっしゃったように、生徒に対して、何かあれば先生がちゃんと待っていると、そう思うと何とかうちのところで止めようと思うかもしれないから、いつでも報告してほしいというのをずっと言っておかないと、何かあったときに遅れてしまって大事故になるから、ずっと言うしかないですよ。</p>
事務局（中村部長）	<p>月例の校長会や教頭会をしていますので、徹底していきたいと思います。中村委員が先ほど、いじられることからいじめになるということをおっしゃっていたと思いますが、春にあった町村教委連協主催の教育委員研修でも講師の先生が時代とともにいじめが変わってきて、始めは遊び感覚でいじっていたら最終的にいじめになってしまって最悪のケースになると大きな事案になっているということをおっしゃっていました。だから私たちもしっかりとそのへんは見抜く力をつけなくてはいけないと思います。</p>
議長（有村町長）	<p>ありがとうございます。</p>
	<p style="text-align: center;">— 施策 31 子ども読書活動の推進について —</p>
議長（有村町長）	<p>今日もクラスを見せていただきましたが、愛知川東小学校で1、2年より3・4・5年生のほうが多かった。愛知川小学校の教室においてある図書数が少ないと見えました。両図書館から司書の方も学校へ行っていただいていますので、もっと生徒たちには学校図書の活用をしていただきたいと思います。あと全体の部分に関して、私が図書館に大変期待をしています。もともと愛荘町は図書の町ということで、ずっと力を入れてきておりますので、より一層子どもたちから読書を習慣付けて欲しいと思っています。資料を改めて見てみると、愛知川地区に比べて秦荘地区は</p>

	<p>読書量が多いですね。中学校になるとその差が大きく、小学校のときはその差が2倍くらいだったのが中学校になると4倍くらいの数字になっていたの、ここが課題であると思います。家庭の学習習慣というのが大事だと思うのですが、どうやって保護者の皆さんにも大事だと伝えていけるかが課題であると思います。ご意見ありましたらお願いいたします。</p>
<p>構成員（植田職務代理者）</p>	<p>いま町長がおっしゃったように、特に中学校、秦荘中学校で平成25年が一人当たり0.5冊だったのが平成29年では4.5冊になっていますよね。愛知中学校も平成26年は0.2冊だったのが平成29年には0.4冊であまり変わらない。スタート時点はそんなに変わらないのにここ5年くらいで、27年度から数字が上がっている。なにか要因があるのですか。</p>
<p>構成員（茶谷館長）</p>	<p>考えられる要因としては、秦荘中には出前図書館で月に3日ずつぐらい中学生の好きそうな雑誌などを持っていつている日があります。それを始めたのが平成27年度だと思います。愛知中の方も当時、同じように学校へ相談をしたらしいですが、持ってきてもらっても紛失ばかりするような気がするのでもらわなくていいと答えをいただいたようで、愛知中は今も出前図書館ができていないです。私は除籍した雑誌でなくなってもいいから子どもが好きそうな分野のものを持っていけばいいと思うのですが遠慮されるみたいです。両校で同じようにはできていないので、できるようになればと思っています。</p>
<p>議長（有村町長）</p>	<p>ありがとうございます。ぜひその対応ができると、できない理由が受け手の愛知中だけの理由ということであれば、大事なことなのでということで積極的に当たってみてもらってよろしいか。</p>
<p>構成員（茶谷館長） 議長（有村町長）</p>	<p>はい、わかりました。</p> <p>また報告を何らかの形でお願いします。</p> <p>いま学校現場で朝の時間に数分間、静かに読書をするという活動は進んでいますか。</p>
<p>事務局（中村部長）</p>	<p>今日の学校訪問で愛知川小学校が実施されていました。秦荘西小学校も授業開始前に10分間いろんなメニューで取り組みをされています。中学校はなかなか難しい部分があるのかと思いますが、難しいばかり言っていては何もならないので、何らかの方策はしていくべきと内部で協議をしている状況です。</p>

議長（有村町長）	その両小学校は1年生から6年生まで全学年でされていますか。
事務局（中村部長）	はい、そうです。
議長（有村町長）	全体にわたって今日は八島さんに積極的な発信をいただきながら大変大事な案件なのでいろんな分野において教育力をより高めていく、それに伴い、学力も上がっていく、私は嬉しいことだと思っていますけどなにかご発言いただければと思います。
構成員（八島委員）	学童保育のことなのですが、愛荘町は4つの小学校でそれぞれ保護者が独自に学童保育を運営されて、町は補助金を出している。私が出している範囲では甲良町や豊郷町は教育委員会がまとめて全体で学童保育所の運営をしている。特に今は愛知川地区の方が、秦荘も多いのですが、共働きで仕事をされている家庭がどんどん増えていると思うので、学童保育は町として一貫してまとめた方がいいと思うのです。シルバー人材センターの人がそこへ派遣で行っているの、状況を聞くと、保護者がとても大変である、それと料金も隣町より負担がある。そのへんを町でまとめるということも考えていかないといけないと思います。来年度契約が切れるという話があるので、そのタイミングを狙うと良いのかとも思います。また、学童保育は見るだけではなくて、できればその時にちょっと勉強を教えてあげるとかそういうのもされていると聞いたことがあるので、そういうことを含めてやると放課後の教育にもなるし、子どもの安全も確保できるのでいいのではないかと思います。ご検討よろしくをお願いします。
事務局（岡部部長）	ご意見ありがとうございます。現在、すべての学童保育所の指定管理の部分については同一期限で終了となるようにしています。その時点でどういう方向にもっていくのか、一定の方向性は見えてきているのですが、まだ議論をしていかななくてはならない。特に保護者の方々のご意見はできるだけ尊重していきたいという思いで調整させていただいています。またご協力をよろしくをお願いします。
構成員（松浦委員）	米原市が退職された先生方を指導者として放課後学習をされていますが、そういう取り組みを愛荘町でもしていただけたら活用される子どもさんや家庭が多いのではないかと思います。
事務局（中村部長）	今の件ですが内部でも検討しておりまして、予算も伴いますので、やるとしたら4小学校とも必要ですのでそれは内部でしっかり話をつめていくところだと思います。

<p>構成員（中村委員）</p>	<p>ひとついいですか。働き方改革で先生の時間を有意義に使おうというのは大賛成なのですが、それで子どもたちの部活動の時間が減らされているのです。それがいい方向にいくならそれでいいと思うのですが現状その空いた時間はみんな遊んでいる感じなので、勉強の部屋を作ってもらおうとかもしくは外部のコーチを呼んでもらって部活動をいままでのように熱心に取り組んでもらおうとか、なにか子どもを夢中にさせる時間をもっと作ってもらいたいというのが保護者の願いです。</p>
<p>事務局（中村部長）</p>	<p>ありがとうございます。部活動指導員ということで県費の補助金がつくことになり、今年度は秦荘中学校も新規でお願いしています。愛知中学校は今度校舎の整備するのですが、生徒たちにアンケートを取ると、部活動について相当強い思いを持っているということがわかります。今のご意見を踏まえて、教職員の働き方改革もしなくてははいけません、学校は子どもたちの場所ですので、取り組ませて頂きたいと思います。</p>
<p>議長（有村町長）</p>	<p>いろいろと貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。</p>
<p>構成員（石田副町長）</p>	<p>1点だけよろしいか。お願いばかりで教育委員会は大変だと思いますが、全国学力学習状況調査の結果、教育というのは学校だけではなくて家庭でもしっかりと取り組んでもらわなければならないので、今は全然公表されていないということなのですが、学校だけで全部受けるのではなくていろんな面で家庭教育もしっかりやってほしいというメッセージを込めてオープンにしてしっかり対策をしていくというスタンスに教育委員会のほうでご検討いただけたらと思いますのでよろしくお願いします。</p>
<p>事務局（中村部長）</p>	<p>ありがとうございます。この件は議会の一般質問でも出ておまして、今内部でどのような公表の方法が一番ベターかという議論をしていくところですので、また教育委員会でお示しし、委員の皆様にもご意見を頂戴する機会を持ちたいと思います。今年度の結果は公表しておりませんので、できれば来年度の結果は公表できるような形で思っています。現在教育長はいないのですが、することはしていかないといけないと思っています。</p>
<p>議長（有村町長）</p>	<p>ありがとうございます。今、副町長が指摘していただいた部分、私もより多くの方と協力しながら立ち向かっていこうという契機にしていきたいという思いは強く持っております。 今日はさまざまなご意見をいただきましてどうもありがとうございます</p>

<p>事務局（中村部長）</p>	<p>した。以上で本日の協議事項はすべて終了しましたので以降の進行につきましては事務局にお願いします。</p> <p>ありがとうございました。皆様方におかれましては早朝からお疲れ様でした。最後に植田教育長職務代理者に閉会のご挨拶をよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>構成員（植田教育長職務代理者）</p>	<p>本日は総合教育会議ということで町長と教育委員の話し合いを持たせていただきました。いろんな課題が愛荘町にはございますので、子どもたちにとって何が一番いいのかという観点で話が進められているということでは非常に評価をしております。これからも教育のいろんな施策等について考えていく必要があると思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。どうもありがとうございました。</p>
<p>事務局（中村部長）</p>	<p>ありがとうございました。以上で平成 30 年度第 2 回愛荘町総合会議を終了いたします。ありがとうございました。</p>